

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年9月1日

【評価実施概要】

事業所番号	272100926		
法人名	株式会社幸友会		
事業所名	グループホームしあわせ		
所在地 (電話番号)	〒038-2705 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町南浮田町字金沢街道の沢55-9 (電話) 0173-82-1701		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 7月 17日	評価確定日	平成 20年 9月 1日

【情報提供票より】(平成 20年 6月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 3月 18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤 8人, 非常勤 人, 常勤換算	5.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋 造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	4,500 円	その他の経費(月額)	4,950 ~ 冬期7,950 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(6月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性 1 名	女性 8 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	84 歳	最低	77 歳
		最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	木村内科医院, 福土歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

新興住宅地の一角にありホームの周りには畑や田園が広がり、緑一杯の環境の中にある。ホームの理念は地域の中で笑顔で過ごせるようにと「笑顔でつくるしあわせ家族」を掲げ、職員は利用者に常に笑顔で思いやりを持って接している。管理者は特に食に力を入れており、利用者が一瞬でも「おいしい」と喜んでくれればとの思いで、食材に旬の物を取り入れたり、喉越しの良い物等色々工夫されている。入浴に関しても浴室にリフトを設置し体の不自由な方の負担を軽減し入浴を楽しんでもらえるよう努めている。又訪問看護ステーションとの連携体制が出来ており、医療面での不安がないよう支援され、日々サービスの質向上の為に取り組んでいる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善点である、虐待防止マニュアル、身体拘束廃止マニュアル、個人情報保護法マニュアル作成に関しては、直ぐに対応している。外部評価に関しては、市町村や運営推進会議へも報告され、意見をもらいながら、今以上のサービスの質向上へ取り組んでいる。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は、管理者、職員と話し合い作成することで、ホームの理念の再確認をする等、利用者の幸せの為に職員がチームワークで取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、家族、職員、町役場職員が参加し、ホームの状況や外部評価報告等を行い、意見を出し合っ、サービスの質向上へ活かしている。新興住宅地の為町内会がなく町会からの参加は実現されていないが、今後はホームから積極的にお願いしていく予定である。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	利用者の生活状況は家族の面会時説明している。金銭管理に関しても個人の出納帳があり、家族に定期的に確認してもらっている。その他にホーム便りでも状況を報告し不安のないよう努めている。又家族からは意見や要望が出やすいよう、管理者、職員が声がけし、サービスの質向上に取り組んでいる。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	新興住宅地の為ホームの周りは若い世帯が多く、町内会が設立されていない。現在は地域の協力は難しい部分もあるが、ホームの祭りへ参加してくれたり、近くに住む年配者はホームに遊びに来てくれ、散歩の時には挨拶も交わし、徐々に地域との交流が図られてきている。又町内、消防、警察(交番)へホーム便りを定期的に回覧し、地域に理解を深めてもらえるよう努めている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中で皆が笑顔でニコニコ過ごせるようにと職員皆で作った「笑顔でつくるしあわせ家族」を理念に掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員はミーティング等で理念について確認し合い日々利用者に笑顔で接し、幸せに過ごせるよう努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	新興住宅地の為町内会はまだ組織されていないが、近所の年配の人たちはホームに遊びに来たり、散歩の時には、挨拶を交わしている。9月の祭り(行事)には地域の方も参加し交流を深めている。又ホームを知って頂く為にホーム便りを回覧している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は全職員が関わって作成している。昨年の課題に関しては皆で意識して取り組んでいる。又外部評価はホーム内に掲示し閲覧出来るようにしている。		
5	6	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議には、家族、職員、町役場職員が参加し、ホームの状況や外部評価報告等話し合わせサービスの質向上に努めている。しかし町内会からの参加は得られておらず、現在は年2回の実施となっている。		町内会がない為町会の方が運営推進会議へ参加することは難しいと思われるが、より多くの地域の方からの意見を頂きサービスの向上の為に積極的に参加を促し3ヶ月に1回定期的に行うことが望まれます。
6	7	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村へホーム便りや外部評価結果等を届け助言等を頂きサービスの質向上に努めている。		
7	8	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在対象者はいないが、職員は権利擁護事業や成年後見制度についての研修会へ参加し理解を深めている。		
8	9	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止マニュアルがあり職員は理解し、日々注意しながら取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時家族、利用者へ十分説明を行い不安のないよう努め、同意を得ている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>家族への報告は面会時や利用料入金時に利用者の生活状況の報告を行っている。又受診時や状態変化時は随時電話で連絡している。金銭管理に関しては個人の出納帳があり、定期的に確認してもらっている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>苦情処理体制が明確であり、家族へも周知されている。面会時には意見要望が出やすいよう、声がけに努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>管理者は職員から意見が出やすいように、コミュニケーションをとり働きやすい環境作りに努めており、職員間の雰囲気も良い。現在まで退職者は殆どいないが、退職者があった場合には家族にも広報誌等に掲載し、お知らせしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は職員が積極的に資格が取れるよう支援している。又外部研修へも参加し3ヶ月に1回のミーティング時には全職員が参加し研修報告や勉強会が行われており、職員の育成がされている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	2ヶ月に1回鱒ヶ沢地区のグループホーム(6施設)の職員交流、研修、施設見学、情報交換等が行われサービスの質向上に活かされている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望時には事前訪問している。又利用者、家族がホームを見学したり、体験泊を行う等不安なく入居出来るよう支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者一人ひとりに合わせた役割があり、職員は一緒に行うことで、利用者から昔ながらのやり方等を学び支え合い日々過ごしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は毎日の会話の中から、利用者の思いや希望を引き出している。管理者も積極的に利用者の話に耳を傾け、把握に努めている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>職員は日々、利用者、家族から意見希望を聞いて、これまでの生活歴を踏まえながら、介護計画に反映させている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月毎の定期的な見直しと状態が変化した時は随時職員、家族の意見を取り入れながら、見直しを行い、面会時に家族から同意書ももらっているが遠方に住んでいる家族からは、同意書が得られていない。</p>		<p>介護計画は家族の同意を得て、サービスを提供することが望ましい為遠方に住んでいる家族からも郵送等により同意書ももらうことが望まれます。</p>
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>病院への受診、通院への支援や訪問看護ステーションとの連携による支援がされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者、家族からの希望を取り入れ、入居前からのかかりつけ医を継続出来るよう、支援している。ホームのかかりつけ医は月1回往診している。又半年に1回健康診断も行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族から要望があった時は、かかりつけ医、訪問看護ステーション、職員と話し合い、連携を取りながら出来るだけ最後までホームで生活出来るよう取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護法によるマニュアルがあり、職員は理解しており、居室の表札や施設見学に関して家族の同意を得る等プライバシーの保護に努めている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の利用者の状態を見て、希望や意向を確認し、買い物や散歩に出かけ、利用者のペースに合わせ、見守り、付き添いながら支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立は利用者の希望を取り入れながら作成している。誕生日には利用者の好物を献立に入れている。食事は利用者、職員が同じテーブルで会話しながら、楽しい雰囲気の中で摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回入浴日を決めているが、希望があれば、入浴日以外でも入浴出来る体制である。入浴はマンツーマンで行い、浴室にはリフトも完備され、体の不自由な利用者も負担なく入浴が楽しめるよう支援している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>食事の時のテーブル拭き、茶碗拭き、お盆配り等の役割の他に、部屋の掃除(出来ない人の部屋も)もリハビリの一環として、積極的に楽しみながら、行えるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩や海の駅、ショッピング等へ外出する機会を設け、気分転換出来るよう支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員は常備されているマニュアルや研修会で理解されており、身体拘束のないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>外へ出る利用者の意思を尊重し、職員と一緒に付き添い対応している。玄関は夜のみ施錠している。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>マニュアルが整備され、職員は有事の際の動きを念頭に入れ日頃から取り組んでいる。地域の協力は新興住宅地の為難しいが近くに職員が住んでいる為直ぐに駆けつけられる体制となっている。非常口にはスロープ式の避難通路があり安全確保に努めている。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立表は職員が作成しているが、外部の栄養士に3ヶ月に1回確認してもらいアドバイスを受けている。食事摂取量、水分摂取量は毎回記録し、利用者の健康管理に努めている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>マニュアルが整備され職員は理解し、対応している。毎日食器消毒、トイレの便座消毒、玄関、洗面所には、手指消毒器が設置され、徹底されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間からは、隣接する畑の野菜や草花が眺められ、また裏庭からは田園が見渡せ、自然を満喫出来る。玄関には熱帯魚の水槽が置かれ利用者の目を楽しませている。居間にはソファや畳の場所もあり、とても家庭的な雰囲気です居心地良く過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れた家具や写真等が置かれている。利用者のニーズに合わせてベットの脇に畳を敷いている部屋もあり、利用者が過ごしやすい工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。